

9 がっひかりごう

令和 3 年 9 月 1 日 輝 保 育 園

今年の 8 月は雨が多く、夏らしさに欠けるシーズンでした。ばら組さんや、ひまわり組さんが太鼓や旗の練習をしていると、まばたきもせずじっと見ているすみれ組さん。その姿に、尊敬や憧れの気持ちが伝わってきます。数年前は、ひまわり組さんも、こんな表情をしていたと思い出しました。今月は、涼しい時間に戸外での活動も取り入れながら過ごしていきます。

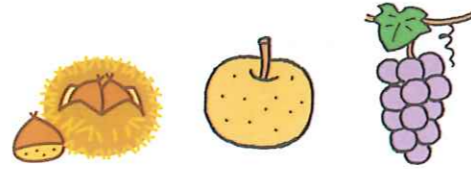
【秋祭り(お楽しみ会)】

昨年と同様、保護者同伴の秋祭りは中止とします。

今年度は、子ども達と保育士で、お楽しみ会を計画しています。

日時 9月16日(木)
10:00 ~ 12:00

(3才以上児さんのお弁当はいりません)



=== ナース・レポート ===

【長崎県に「日本脳炎注意報」を発表
蚊に刺されない対策を呼びかけ】

長崎県は、7/21に調査したブタ10頭のうち1頭から、日本脳炎ウイルスに最近感染したことを示す抗体を検出したとして、8/02「日本脳炎注意報」を発表した。

8/2 テレビ長崎より引用

日本脳炎は、日本脳炎ウイルスを保有するブタから蚊を媒介して人に感染します。

潜伏期間は5~15日で、発熱・頭痛・嘔吐症状から発症し、意識障害、けいれんなどの中枢神経障害が現れます。

発症してしまうと、治療法のない予後不良の病気です。

予防は、蚊に刺されない対策ですが、一番重要なのはワクチン接種です。

しかし、8月の「広報ちくご」にも記載があったように、今年度の日本脳炎ワクチンの供給量は減少する見込みです。

その為、今年度は、4回接種のうち、1回目と2回目の接種を行う人が優先されます。

詳しくは「広報ちくご」をご覧ください。

養豚場や田んぼの近所にお住まいの方は要注意です。

日頃から蚊の対策(虫よけスプレーや長袖を着せる)も行いつつ、計画的にワクチンを接種していきましょう。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭生活(生活習慣) ☆☆

生活習慣は育ちの基礎 - 1

基本的な生活習慣と呼ばれる食事、排泄、睡眠、清潔、着脱衣、お手伝い、あいさつといった習慣が年齢相応にきちんと身に付いているということは、子どもの心と体の健やかな育ちにとってとても大切なことです。

現代の子どもの深刻な問題として指摘されている「学ぶ意欲」、「自尊感情」、「規範意識」、「体力等」の低下の一因に基本的な生活習慣の乱れがあると考えられています。

望ましい「生活習慣」は「自尊感情」を高める方法の一つです。

例えば、生活習慣と自尊感情の関係を考えてみましょう。

自尊感情とは「自分自身を基本的に価値あるものとする感覚」のことです。

自分に自信をもち、自己を肯定的に捉えることができるということは、子どもが意欲的に生活し、自分の可能性を伸ばしていくうえでとても大切なことです。



「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

★ 敬老の日 ★

9月20日は、敬老の日です。

保育園に送迎してもらったり、病気の時に、お父さんやお母さんの代わりに見てくれるおじいちゃん、おばあちゃん。

普段はなかなか伝えられない感謝の気持ちを伝えましょう。何か、喜んでもらえることを考えてみましょう。



= 9月の行事予定 =

- 3日(金) 避難訓練
- 16日(木) 秋祭り(お楽しみ会)
- 24日(金) 身体測定・誕生会

<p>たんぽぽぐみ 0才児</p>	<p>体をたくさん動かして遊んだ後、大好きな給食の時間が始まります。手洗いを終え、笑顔でそれぞれの食卓に座り、「今日は何かな？」と身を乗り出して、確認します。食事の挨拶をすると、すぐに手掴み食べをし、楽しんでいます。この手掴み食べは、発育・発達段階において、とても大切な行動で、触ったり、握ったりすることで食材の触感を知り、食べ物への関心につながります。自分の意志で食べようとし、目で見た物の正しい位置へ手を伸ばし、手に取り口に運ぶことで目と手と口が連動する動作を育てていきます。この経験をたくさん積むことで、食べ物の性質を知り、自分に適した一口量も知り、食べる意欲につながっていきます。これが、スプーンやお箸といった食具を使う上で大切な経験となります。こぼすことも多いですが、温かく見守ってあげてください。</p>
<p>たんぽぽぐみ 1才児</p>	<p>8月は天候不良が続き、なかなか水遊びすることが出来ませんでした。残念ながら、プール遊びは1回も経験することが出来ませんでした。ほとんど、室内で過ごすことになり、マット、風船、ボール、大型ブロックなど、少し体を動かせる遊びと、ままごと、人形遊び、ブロック、シール貼り、お絵描き、洗濯ばさみ、等々、じっくり遊んだり、手先を使って遊ぶ遊びを取り入れました。人気の遊びは、ままごと、人形遊び、ハンカチ遊びです。ハンカチの角と角をきちんと合わせて上手にたたむKちゃん。「Kちゃん上手ね」と感心していると、となりで、K君もたたみ始めます。お友達にしていることに興味を持ち真似してみたり、近くで遊んだりする姿もよく見られます。友だちと一緒に過ごす時間が楽しいものとなるよう、仲立ちしたりして関わっています。</p>
<p>すみれぐみ 2才児</p>	<p>8月は雨が多く、プールや水遊びがほとんどできませんでした。プールを楽しむにしていた子ども達も、残念な様子でした。これから、夏の疲れがやすい時期になります。給食の時間に眠くなってしまい、なかなか食事が進まない子もいます。健康で元気に日々過ごせるように、規則正しい生活リズムを心掛けましょう。すみれ組では今、給食の時間に、三点支持を頑張っており取り組んでいます。声掛けをすると、「こう？」と確認しながら持つ姿が見られるようになってきました。まだまだ定着するには、難しいようですが、子どもたち同士でも教えあうなど、「やってみよう！」という意欲を持ち、頑張っています。子どもたちが、興味や関心を持っているときに、成長のチャンスです。ご家庭でも、食事の際には、スプーンの持ち方を確認し、声掛けをお願いします。</p>
<p>ちゅうりっぷぐみ 3才児</p>	<p>新年度説明会でもお話ししましたように、身辺自立における3才児期の最重要課題はお箸の習得です。今年度の習得率は例年に比べると、緩やかな状況となっています。又、持ち方、動かし方の特徴としては上下の箸が適切な箇所固定されず、下の箸を動かして食材をつまもうとする姿が目立っています。その要因には、矯正橋が関係しているのではと推察しています。矯正橋にもさまざまな種類の物がありますが、リングに指を通すタイプのもは、親指薬指を正しく使わなくてもつまめるようになってきています。下の箸を固定し、上の箸を支えるには親指の力の入れ方と薬指の位置が非常に重要です。矯正橋と通常のお箸では力の入れ方が違うため、ご家庭では通常のお箸での練習をお勧めします。練習は楽しく、そして成功体験で終わらせましょう。</p>
<p>ばらぐみ 4才児</p>	<p>鉄棒の前まわりに挑戦しています。ジャンプの勢いが足りず、苦戦している子には「ここまでジャンプしよう」と目標を示し、目標の位置に達すると、保育者の方を見て目を輝かせています。「出来ないかもしれない」という不安から「出来るかもしれない」という気持ちの変化が目に見えて分かる瞬間です。次第に「自分で出来る」、「見ててね」という自信に満ち溢れた声が聞かれるようになりました。子ども達を手伝う事は簡単ですが大切なのは、子ども達自身が試行錯誤しながら目標を達成するまでの過程を経験することです。頑張っている姿を認めながら、今後も進めていきます。今月は、運動会に向けて「旗」の活動をしていきます。その中で、協調性が育まれるようにと、願いを込めて取り組んでいきます。</p>
<p>ひまわりぐみ 5才児</p>	<p>8月のプール活動ではバタ足で泳ぐことに挑戦しました。水の慣れや泳げる距離などに個人差はありますが、友だちが上手なことに気づいて「すごい」と褒めたり、友だちが勇気を出していることに気づいて「頑張れ」と応援したりする姿が見られました。また運動会への取り組みも始めています。組体操では声をかけ合ったり教え合ったりしながら取り組み、遊戯では友だちと息が合わずにずれてしまうと「次は頑張ろう」と声をかけ合う姿が見られるようになり、思いやりの心や協調性が育ってきたことを感じます。9月は友だちとルールを守りながら遊ぶ中で、自我を抑制したりコミュニケーションを取ったりすることで人と関わる力を育む大切な遊びであるルールのある遊びを取り入れていきます。取り組みを通して、さらに協同性や道徳性を育てていきます。</p>